

講義科目 : 家族関係学	単位数 : 2
担当 : 松田 いりあ	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

- ・この授業では、近代社会以降において、家族になること／家族であることの意味と困難を事例とともに解説する。そのため「家族の定義」、「家族の過去・現在・未来」、「家族とライフコース」という三つのテーマを設定する。
- ・授業は基本的に講義形式で行うが、随時、授業内課題を実施し、提出された課題をもとに、受講生とともに考える機会を設ける。
- ・この授業では、受講生が現在の家族関係をめぐる課題を知るだけでなく、家族をめぐる従来の議論の前提自体を再検討できるようになることが目標である。

授業計画

- 第1回 はじめに：講義の概要と評価方法の説明
- 第2回 家族の定義（1）：さまざまな定義の紹介
- 第3回 家族の定義（2）：家族のイメージと実像
- 第4回 授業中課題（1）
- 第5回 前近代の家族：「家」と「イエ」
- 第6回 近代の家族（1）：日本における近代家族（20世紀前半まで）
- 第7回 近代の家族（2）：日本における近代家族（20世紀後半から）
- 第8回 授業中課題（1）
- 第9回 現代の家族（1）：21世紀日本の家族
- 第10回 現代の家族（2）：家族と個人化
- 第11回 青年期と家族
- 第12回 パートナーシップと家族
- 第13回 家族と親子関係
- 第14回 高齢期と家族
- 第15回 まとめおよび授業中課題（2）

教材・テキスト・参考文献等

神原文子・杉井潤子・竹田美知編著
『よくわかる現代家族 第2版』（ミネルヴァ書房）

成績評価方法

レポート70%、授業内課題30%

※成績評価の対象者になるためには、規定の出席回数を満たす必要がある。